掲載日:2015年04月21日,面名:U106X0,記事ID:K201504210A0U106X00003 (C)河北新報社

仙台大 勝ち点

東北大に2－0

仙台六大学野球

第2節第3日は20日、仙台市の東北福祉大球場で東北大－仙台大の3回戦が行われ、仙台大が2－0で東北大を下して2勝1敗とし、勝ち点1を挙げた。

仙台大は二回、千葉俊の左越えソロ本塁打で先制、八回には鶴田剛也の左翼線適時二塁打で加点した。先発熊原健人は13奪三振の力投。18日の1回戦に続き、完封で2勝目を挙げた。

第3節第1日は25日、同球場で東北学院大－東北大、仙台大－東北工大の各1回戦を行う。

東北大	打	安	点
(左)田口	4	0	0
(三)石垣	4	0	0
(二)沢木	3	0	0
(指)服部	3	0	0
(捕)原嶋	3	0	0
(右)内堀	3	1	0
打駒形	2	0	0
走奥野	2	1	0
中千田	1	0	0
(遊)佐々木	0	0	0
(中)柳沢	3	0	0
右村岡	3	0	0
振球犠併残			
13 1 0 0 3	29	2	0

仙台大	打	安	点
(右)井川	3	0	0
(中)鳥本	3	0	0
(三)白川	4	1	0
(指)松本	4	0	0
(左)大坂	2	0	0
(捕)郷古	3	1	1
(二)鶴田	3	1	1
遊千葉	3	1	1
野浅野	2	0	0
壮柏	2	1	0
尾	3	1	0
振球犠併残			
6 3 1 1 4	26	5	2

二鶴田 盗石垣、郷古 失松本、服部
時2時間2分

投	手回	打	安	責
橋口	6⅓	23	4	2
田村	1⅔	7	1	0
熊原	9	30	2	0

熊原 13K完封

東北大－仙台大3回戦（仙台大2勝1敗）

東北大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台大	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	×2

勝熊原2試合2勝
敗橋口2試合2敗
本千葉1号①（橋口）

【評】仙台大が熊原の力投で2点を守り切った。二回に千葉のソロ本塁打で先制し、七回には短長打で加点した。熊原は七回まで無安打の快投で、13奪三振の完封。東北大は打線が八回の1死一、二塁など少ない好機を生かせず、投手陣の粘りに報えなかった。

○…エース、チーム救う奮投 仙台大の熊原が13奪三振で1回戦に続く完封勝利を挙げ、エースの意地を見せた。テンポ良く直球、変化球を織り交ぜ、東北大打線に的を絞らせなかった。

序盤は直球主体で押し、二、三回に6者連続三振。以降は相手の直球狙いに気付くと、変化球を決め球に打たせて取った。「打者に考えさせる投球ができた」と満足そう。中1日での登板にも疲れを見せず「背番号18は、その節のチームの状態を左右する立場。来週も頑張りたい」と力強い。

「負けない野球を実現してくれた」と森本監督。打線が今節の3試合で7得点と低調なだけに、エースの奮闘が頼もしそうだった。

○…東北大打線、元気なし 東北大打線が13三振を喫して零封負け。1999年の春以来となる仙台大からの勝ち点奪取はならなかった。鈴木監督は「熊原君はさすが。狙い球が来てもバットが出なかった」と相手の主戦に脱帽した。

好機は八回。1死から連打を浴びせて一、二塁と攻めたが、後続の柳沢が左飛、村岡は三振に倒れた。柳沢は「直球だけでなく、変化球でカウントを取られると打ち崩すのは難しい」と無念そうに話した。

それでも「盗塁など、動いて攻撃はつくれた。後は最後（の一打）だけ」と鈴木監督。僅差の敗戦に暗さはなかった。

東北大－仙台大　13三振を奪い完封した仙台大の熊原